

地域説明会概要

No.	小学校区	発言者	質問・意見	回答
1	一小	A	移動時間が40分、旧市町村をまたがない編成をすると以前話をしていたが、なぜ変わったのか。	文科省の手引を参考に60分に変更した。また、子どもたちにとって良い教育をするためにも、人数がいた方が良くと考え、旧市町村をまたいだ編成を案として提示した。
2	一小	B	学区の現状はどうなっていますか。 専門の先生に教えてもらうことが大事である。	学区の変更については、いくつかの条件がある。その条件を満たせば、学区の変更をして通学できる。 専門教師の配置ができることが1番と考え、案を作成した。
3	一小	C	一小の卒業生が別れることが問題であった。10年掛けて進めるのか。中止もあるのか。 交通量も多くなってきたのでスクールバスで安全に登下校できると良い。	意見を頂き、皆様に理解して頂き実施をしたい。いつ実施するのかも話し合っていていきたい。 ご意見として承る。
4	一小	D	子どもをよりよく育てたいが、地域の理解や地域の活性化など無理のないように慎重に進めて頂きたい。	ご意見として承る。
5	一小	A	一小の児童は二中に進学することになると、三中の生徒が少なくなってしまうのではないかと。三中はゆくゆく統合してしまうのか。 吸収ではないと書いてあるが具体的な方法は。 校舎も新しくなるのか。	三中の地区でも説明してご意見を頂いている。人数が少ないときには統合することも考えている。 喜多方高校のような統合を考えている。今の学校名や校歌などこだわらず、話し合いで決めていきたい。 場合と状況により決めていきたい。
6	一小	B	バス通学について、定期券を持って通う1・2年生はかわいそうだと思う。分校のような形で1・2年生は近くの学校で学習するのが良いのではないかと。	ご意見として承る。

地域説明会概要

No.	小学校区	発言者	質問・意見	回答
7	二小	E	<p>資料2の学校別状況R42年度の指標が出ている理由は何か。</p> <p>市のビジョンに基づいた適正規模適正配置ということであるということは分かるが、文科省の基準に基づいて全国的に取り組んでいる中での喜多方市の取組という認識でよいか。</p> <p>適正規模適正配置を進めるにあたって、規模の大きいところに集め、山間部の過疎化が進むという流れは避けられないところだろ思われるが、人が輝く活力の持てるような学校の統廃合をうまくやっていただきたい。</p> <p>大規模校に小規模校が統合されるということでの不安の解消に努めていただきたい。</p> <p>今までどんな小さな地域にも学校があり、歴史があるものである。統廃合によってこの歴史が切れてしまうことは、市の大綱とのひずみが出てしまうのではないか。統廃合によって使われなくなる施設を有効に活用できる仕組みを作っていただけるとよい。</p>	<p>長期人口ビジョンの推計に基づいた数字となっている。</p> <p>統廃合については、喜多方市周辺でも取り組んでいることであり、文科省の手引きも参考にしながら地域性を考慮して作り上げてきたのがこの実施計画案である。</p> <p>ご意見として承る。</p>
8	二小	F	<p>学校跡地となる場所の管理については、地域の活性化を踏まえて地域の方に委託して管理をするなど継続した活用ができるようにしてほしい。</p>	<p>施設の跡地活用については、他課にも働きかけ、地域の人の声を聴きながら、地域で活用することができるような活用方法を検討していきたい。</p>
9	二小	E	<p>子どもたちが地域に戻ってくるような温かみのある学校づくりと仕組みづくりをお願いしたい。</p> <p>資料にICT活用力の育成について記載があったが、直接統廃合に関わるものではないものか。</p> <p>統廃合した後も児童生徒数は減少していくため、校舎の老朽化の改修という点以外では経費はあまりかからないのか。</p>	<p>ICT活用力の育成については、現在、タブレットの配置を行い取り組んでいるとことである。</p> <p>タブレットのリース等、他の部分でも経費はかかってくと思われる。</p>

地域説明会概要

No.	小学校区	発言者	質問・意見	回答
10	二小	F	<p>統廃合への調整準備とは、複式となっているところを中心に調整準備に入るといってよいか。</p> <p>スケジュール的に一斉に統廃合は進むということなのか。</p> <p>説明は同じ時期に行っていくのか。</p>	<p>これからの教育を進めるにあたっては、ある程度の人数を確保することも必要なため、一つの目的として複式学級の解消も掲げている。</p> <p>地域・保護者の方との話し合いの中で、進む地域もあれば、そうでない地域も出てくるのが考えられる。話し合いを重ねながら、ご理解をいただき進めていきたい。</p> <p>これまで、保護者対象を夏休みの前半17か所で説明会を実施し、お盆明けに地域の皆様に説明を行っているところである。</p>
11	二小	E	<p>今回説明を受けたが、現在は一中、二小の統廃合の心配はしていないが、中間山村地域にとっては切実な話となっていることと思う。十分理解を得られる説明をお願いしたい。</p>	<p>ご意見として承る。</p>
12	松山小	G	<p>案に示されている適正規模適正配置の基準は、市独自のものか。</p>	<p>文部科学省の適正規模適正配置の手引きに大枠は示されているが、基本的には市独自のものである。</p>
13	松山小	H	<p>学校の統廃合の形態について。校名、校章、校歌は学校の歴史である。かつて、校名制定委員会等で2年間協議した学校名が議会で否決された事例もある。校名等についてどのように考えているか。</p> <p>喜二中と会北中が統合になった場合、検討後に、どちらかの校名が残った場合、校名がなくなる地区に、吸収統合だという意識を持たせないようにしてほしい。校歌についても同様である。一部には、喜一中が「運よく現状維持」のため校名、校歌が残り伝統が継続するという声も聞こえる。適正規模適正配置が、地区住民に十分理解されるようお願いしたい。</p>	<p>詳細については決めていない。校名、校章、校歌等については、関係者で検討委員会を立ち上げ、検討していく。その経過で結果的に校名が変わらないこともあり得るが、その場合でも統合校は一旦廃校になる。</p> <p>十分に理解していただけるよう、配慮していきたい。</p> <p>検討委員会で十分話し合いを行い、理解を得られるようにしていきたい。結果的に校名、校歌等が変わらない場合も理由付けをしっかりと行い、説明できるようにしていくのが必要だと考えている。</p>
14	松山小	I	<p>校舎の老朽化について。統廃合、現状維持の校舎を含め、耐久化や改築は考えているのか。</p>	<p>校舎の法定耐用年数が超過したものがすぐに使用できなくなることはない。耐震化は全て行っているため、適正規模適正配置の方向性が決まれば、統合する学校の校舎の長寿命化を図り、改築を加えた上で使用していく。長寿命化に耐えることができなければ新築していく。</p>

地域説明会概要

No.	小学校区	発言者	質問・意見	回答
15	松山小	J	<p>小中一貫学校について、市は基本的にどのように考えているか。</p> <p>これからは、適正規模適正配置を通して、ある適度の規模の学校で、小中一貫学校等、よい環境を整え、伸びる児童生徒はさらに伸ばしていく必要がある。</p>	<p>小中一貫教育学校は学習内容を先行して行える、部活動を小学校から実施できるなどのメリットがある。山都、高郷地区については旧市町村を越えた統廃合を行うために、教育的魅力を提供したいと考え、提案している。</p> <p>小中一貫学校についてはメリットも十分あるので、その魅力を十分理解しながら進めていきたい。他の地区でも導入の選択肢もある。児童生徒の力をさらに伸ばしていきたい。</p>
16	松山小	K	<p>スケジュールについて。令和10年度までに一応終わるとのことか。</p> <p>前期は今後5年、後期は前期後5年、次期はその後ということか。</p> <p>今後、どのように進んでいくのか。</p>	<p>前期、後期、次期に分かれているが、早い場合でも2年くらいはかかると思う。また、校名、校歌等の検討について時間がかかる場合は、後期になることもあると考える。さらに校舎改築等ハード面の整備が必要な場合には次期ということになる。</p> <p>その通りである。</p> <p>全体的な計画は、今年度中に作成したい。但し、地区によってまとまらないところも出てくるので、どうするか検討中である。地区によっては早く統合を進めてほしいという地区もある。今後は、地区別の個別の計画によって進めていくことになると思う。</p>
17	上三宮小	L	<p>中学校の小規模校で教員が配置されなくなる場合はどうするのか。</p> <p>どういう基準になっているのか。</p> <p>免許外指導を前提として配置が行われているのか。</p> <p>過小規模はだめだから教員を配置しないということか。</p> <p>法的な変更はなされないのか。</p>	<p>山都、高郷、会北については、6名の教員が配置されており、6名で中学校の9教科を指導することになる。教員が、講習を受け、自分の専門外の教科の指導をするようになる。生徒の立場からすると、専門的な指導を受けることができないということも出てくる。そのため、喜二中程度の1学年3学級程度の学級があればよいと考える。</p> <p>基準は法律で決められている。それに基づいて福島県が配置している。</p> <p>学級数によって、配置する教員の数は決まっている。</p> <p>だめということだけでなく、学級数によって教員の配置が法律で決まっており、それに基づいた配置がされている。</p> <p>中学校では動きはないが、小学校では1学級当たりの児童数が今まで40人であったものが、数年前から1年生から段階的に1学級当たり35人にする編制になってきている。</p>

地域説明会概要

No.	小学校区	発言者	質問・意見	回答
18	上三宮小	L	<p>教員の多忙化が問題になっている。規模の大小にかかわらず、仕事量は同じと思う。また、学校生活に適応しない児童生徒も出てくるのではないか。教員が配置されず、専門的な指導が受けられない等から教育格差が出てくるのではないか。単に統合するのではなく、人数が少なくともが学級数が確保され、教員の配置ができればいいと思う。</p> <p>部活動についても新しいことを考えていく考えはあるのか。</p> <p>講師への謝礼はどうするのか。保護者負担にはならないのか。</p> <p>上三宮小学校では児童が行事等で、一人一人が役割を持って、一生懸命取り組んでいる姿をみてきた。その子が二中など大集団に入った時にどのような姿になっているか、追跡調査等はしないのか。</p> <p>それらによって、小規模特認校ということもどんな効果があるか分かるのではないか。</p>	<p>教員数がいれば、一人一人の子供たちに目を配る教師の目が多くなるし、きめ細かい指導や専門的な指導も可能になってくる。その意味で、ある程度の規模があり、学級数、教員数が確保することによって、子供たちにとってよりよい教育環境を作っていく必要がある。</p> <p>中学校の部活動についてもある程度の規模の学校が必要になってくると考える。土日部活動ということで、モデルケースとして地域へ移行した活動を今年度から取組を始めている。</p> <p>謝礼はお支払いする。保護者負担にしている自治体もあるが、喜多方市では現在のところ考えていない。</p> <p>現在、追跡調査は実施していない。小規模集団で生活してきた子が大きな集団に入った時にどうなるかという客観的なデータも持っていない。</p> <p>小規模特認校で学んだ子供たちが中学校に進学してどのような活躍や成長を見せるのかを含め、子供の育ちという意味で、毎年の検証が必要になってくる。</p>
19	上三宮小	M	<p>複式学級の資料等については提示されているが、今後学校がなくなるということになるということか。</p> <p>複式学級のように小さくとも、学年で学ばなければならないこと、少ない人数でもその子供たちとかわりを持って成長していければよいのではないか。かえって、大人数よりも少ない方が目が届いてよいと思う。</p> <p>子供たちが歩ける範囲で学校があり、教師がいればそれでよいと思う。子供がいなければ、その範囲内で実施せざるを得ないのではないか。</p> <p>問題なのは、そこに学校があるにもかかわらず、他の小学校に通学していることであると思う。</p>	<p>一定の規模になるように統合したらよいのではないのかということで提案しているところである。</p> <p>小さいから教師による目配りができるということではない。ある程度の教師の人数がいなければ逆にできなくなる。小学校の場合、複式3学級になれば養護教諭か学校事務員は配置されなくなり、2学級になればどちらも配置されなくなるということが出てくる。</p> <p>中学校では小規模校になると9教科を指導するだけの教師が配置することができなくなる。以前の教育とは様変わりしている。人と人との関りで意見をぶつけ合いながら協力し合って創り上げていくことが大切である。そのためにはある程度の規模が必要と思う。</p> <p>保護者の考え方、仕事の関係などでいろいろなことが多様化しており、市教委も基準を設けており、それに応じて学区外通学している。ある程度仕方がないことであると思う。</p>

地域説明会概要

No.	小学校区	発言者	質問・意見	回答
20	上三宮小	N	<p>小規模特認校の導入についてしっかり決めて導入されたのかどうか疑問がある。</p> <p>高齢化率が高い。今後さらに進み、限界集落なることも予想される。地区には子供もいない。中学校も12年間で280名程度減少するということである。行政も今後10年間で人口が半数になり、行政が維持できなくなる予想になる。学校や行政区等について、統合など効率化を進めていくことが重要であり、20年～30年後の人口等を考えれば、ある程度方策は決まってくると思う。市として様々な視点で取り組んでほしい。そうしないと、全てが立ちいかなくなる。もっとスピード感を持って進めてほしい。</p>	<p>児童数、教育活動の成果、児童の成長等の大まかな基準はもっているが、明確に現在設定されているわけではない。一年ごとの評価をしっかり行って検証していきたい。</p> <p>市としても全体的な見通しを持って学校の適正規模適正配置について考えているが、さらに進めていくようにしたい。</p>
21	三小	O	<p>学区は誰が決めているのか。学区の見直しが必要なのではないか。大きな施設に集めてはどうか。10年後にまた検討することになると思う。</p>	<p>学区は喜多方市で決めている。 ご意見としていただく。</p>
22	三小	P	<p>保護者への説明会の参加状況は。 学校の保護者会等で保護者が集まった時に説明会を行った方が良いのではないかと。</p>	<p>第三小2名、関柴小5名、熊倉小16名であった。 周知する方法を考えていきたい。今後はアンケートなど行い、意見を集約する予定である。</p>
23	三小	Q	<p>第三小学校ができるときに、その後の合併はないという説明であったが。 今回の資料等は広報やHPなどで広めて欲しい。 パブリックコメントをして欲しい。</p>	<p>案として作成した。ご意見を頂いて、子どもに良い環境をつくっていきたい。 HPで見られるようになっている。周知不足であった。 実際に会ってご意見が頂けるように取り組んでいる。今後検討していきたい。</p>
24	三小	R	<p>複式学級良い面もあるが、ない方が良いという考えからの提案ですか。</p>	<p>学級数が少ないと、養護教諭や事務職員が配置できない。また、学校規模にかかわらず仕事は一定にあり、小規模校だと教員1人が抱える仕事量が増える。複式学級だと子ども一人ひとりを見ることができるが、授業を2つ同時に行わなければならない。</p>
25	三小	P	<p>3校が統合するのか。2校を統合した後に1校加わるのか。 3校を合わせるのが難しいが、子どものことを考えて実施して欲しい。</p>	<p>未定である。多くの意見を頂いて決定していきたい。保護者や地域の理解を得ていきたい。</p>

地域説明会概要

No.	小学校区	発言者	質問・意見	回答
26	三小	P	廃校の活用について案があれば教えて欲しい。利活用の話をする際に中心として動くのは学校教育課ですか。	他の課と話し合って決定していきたい。そのためにも案を決定したあとで、利活用の話も進めていきたい。 まずは統合の案を決め、他課と協力して話をしていきたい。
27	三小	S	将来のことを考えると山間部を除いた市街地は2校ぐらいにまとめてしまった方が良いのではないか。	今後も子どもの減少は進むと思うので、最終を考えて取り組んでいきたい。
28	関柴小	T	関柴の場合、広範囲の学校の統合となり、場所が関柴小学校を基本とするとのことだが、新たなということは、校名などを新しくすることだけなのか、それとも校舎も新しくすることなのか。既存の学校を改修しながらというイメージであったが、関柴小学校もかなり古い学校であるため、新築も考えていただけるとよいのではないか。	新たなとは、吸収・統合ではなく、新たな学校を設立するということであるが、校名、校歌などについては今後協議しながら進めていくということになる。校舎については既存の物を使用するとしているが、新校舎ということのご意見としていただいておく。
29	関柴小	U	行政区で学校が違うのはどうするのか。 関柴の場合、上高額は、同じ関柴でありながら学区が異なる。新しい学校ができるのであれば、上高額は関柴小となるのか、二小となるのか。行政区と学区の兼ね合いについて指針を検討していただけるとよい。	二小との兼ね合いということであれば、ご意見を頂戴したい。 学区の変更はしないこととしているが、同じ行政区で学区が分かれるのは、地域行事を実施する上で、厳しい面もあるため、学区についても検討していきたい。
30	関柴小	V	少人数の学校だと教育活動の活性化が図れない、多様な深い学びとならないとはどういうことか。今は回答を求めない。 これから、統合に向けて調整・準備に入るとのことだが、その都度これからも何回も説明会を行うということでしょうか。 校名などの検討についても、地域として相談して決めていくのか。教育委員会が決めるものではないということでしょうか。 関柴に統合するからよいことではなく、雄国や入田付のことも考えていかないと、地域が荒廃してしまう。子どもは宝、金がかかるかもしれないが、少人数になっても大切にしていかなければならないのではないか。 なぜ、上三宮小が特認校として存続して、慶徳や熊倉、岩月が統合されていくのは不公平ではないか。機会があれば、説明してほしい。	状況に応じて、複数回の説明会を開催していく。 地域との協議の上、決定していく。 その他については、ご意見として承る。

地域説明会概要

No.	小学校区	発言者	質問・意見	回答
31	熊倉小	W	<p>案については反対である。広報きたかたには日程は載っていたが、統廃合案についての記載はなかった。地域コミュニティにとって重要なものなので事前に案を住民等に配布し、啓蒙を図った上で、説明会を実施することが必要ではないか。</p> <p>実施時期の前期、後期ということは、どういうことか。10年の期間で区切るのではなく、住民の意見を十分受け止めて行ってほしい。高校の場合も1クラスの高校があり、地元との関係を大切にしている。（川口高校の例：地域協働推進校）</p>	<p>住民説明会の周知、議論の経過の周知等について検討していきたい。</p> <p>実施時期について、前期が5年間、後期が後の5年間で、計画期間の10年間にできなかったのが、次期ということになる。実際の実施時期については、皆さんとの話し合いで決めていきたい。具体的な統合計画決定の後に校舎等の改築も必要になることも考えられるが、そこについてもまだ未定である。全ての地区が10年間で実施終了するというわけではない。</p>
32	熊倉小	X	<p>区長宛の説明会の案内文書はいただいたが、QRコードについての理解も不十分なので読み取りができなかった。せめて、区長に資料を配付することはできないか。</p>	<p>今回の開催については、概要等について、掲載の工夫をしていきたい。</p>
33	熊倉小	Y	<p>審議会等で当初、40分とあった通学時間をなぜ、60分としたのか。</p> <p>上三宮小学校が小規模特認校になったことを歓迎するが、なぜ、上三宮小学校だけなのか。</p> <p>保護者説明会の概要を聞かせてほしい。</p>	<p>40分ということ議論されてきた経過があるが、児童生徒数の状況、具体的な統合案を作成するにあたり、広域的な統合が必要であるとの考えで、60分にした。60分については文科省の手引きを参照にした。なお、一律に時間で区切るのではなく、実情に応じて弾力的に運用していきたい。</p> <p>2年間、新入学生が0名であり、令和4年度に1年生と4年生の飛び複式学級を編制することが予想されたので、緊急的な対応として導入した。その結果、今年4名が転入学し、3学級になっている。なお、数年間の実施期間を通して、成果について検証し、その後の学校の在り方について検討していく予定である。他の小学校の適用については、児童の奪い合いということも想定されるので考えていない。</p> <p>いつ統合になるのか、スクールバスは出るのか、児童クラブはどうなるのか等、具体的な統合についての質問が出された。複式学級にならないうちは残してほしい、少人数指導を充実させてほしい、小規模特認校を導入したい等の反対意見もあった。また、三中については部活動の関係から他校との統合についても考えてほしいという意見もあった。</p>

地域説明会概要

No.	小学校区	発言者	質問・意見	回答
34	熊倉小	Z	<p>案に賛成していいのかわからない。少子化が教育に及ぼす影響について、データ（補完も含め）があれば教えてほしい。</p> <p>これらの課題をクリアしている小規模校があれば、どのようにして解決しているのかを教えてください。</p> <p>他の人の意見も知りたい。保護者会等の具体的な内容について知る方法はあるのか。また、賛否、要望等を表明する場合には、いつまでにどこに言えばいいのか教えてください。案について周知し、考える場も設けていただけるといい。PTAに連絡する必要があるのか。</p>	<p>少子化が教育に及ぼす影響について、科学的に学力差があるとは必ずしも言えない。私たちが重視しているのは、人と人との関りである。教師からの一方的な指導ではなく、グループ活動等を通して友達の多様な意見に接しつつ、考えを深め、課題を解決していくことが重要であると考えている。</p> <p>複式学級等において、保護者、地域、教員の努力、工夫によって課題解決に向けて取り組んでいるが、より望ましいのは、多様な考え、意見に触れ、より深い学びをしていくことであると考えている。そのためにも、前述したようなある程度の人数規模を確保していくことが大切である。</p> <p>説明会等の意見を基に、再度案を検討していく。その案について、PTA等、保護者に関して、何かしらの意見聴取をしていきたい。アンケート等についても考えている。説明会は、今回で終わりということではない。今後も実施する予定であり、その際に考えをお伺いしてもよいし、アンケート等でもよいを考える。</p>
35	熊倉小	AA	<p>以前から適正規模適正配置に関する問題について関わっている。①統廃合についての審議、②存続のためにはどのようにしたらよいかの審議の2点から考えていく必要がある。</p> <p>子供の数に合わせて統廃合するということは安易で、いかに少子化を止めるかを市教委だけでなく、市長が先頭になって考えてほしい。（少子化対策、移住施策、企業誘致他）</p> <p>以前、議会等には、要望書を出してあるので趣旨を理解し、学校を存続させるための方策について、他市町村の例の調査等もお願いしたい。</p> <p>学校の存続のための審議会をつくり、学校存続のための案をぜひ提案してほしい。</p> <p>第3回～第9回の審議会に熊倉の行政の代表が入っていないのはなぜか。</p> <p>重要な案件を審議しているのに該当の行政区が入っていないのは疑問である。</p>	<p>意見書の提出等、過去の経過については把握している。</p> <p>全体的な少子化対策等については、市の総合戦略により様々な施策を実施しているところである。</p> <p>今回の案については、教育委員会内だけでなく、庁内での会議を経て提案しているところである。</p> <p>今回提案した案は子どもの学びの場を最優先に考えて作成したものである。</p> <p>なお、持ち帰って再度検討を進めていきたい。</p> <p>学校の存続及び統廃合についての審議は、適正規模適正配置審議会の中で行われるべきであると考えている。</p> <p>中学校区内での持ち回りをしている。</p> <p>今回の適正規模適正配置は市内全体を考えており、該当の全ての行政区長が入るということは難しい。それを補うために、今回のような説明会を実施しているので御理解いただきたい。</p>

地域説明会概要

No.	小学校区	発言者	質問・意見	回答
36	熊倉小	W	文科省のHPでは手引きには一定の基準を示しているが、地域住民の意向を十分活かしていくことが示されている。単にスクールバスを活用すればよいということではない。発達段階に応じたものでなければならない。学校はコミュニティの中心である。令和10年までには実施するというので進めてほしい。 (欠席者の手紙) から 学校は、地域と連携して初めて成り立つ、学校は地域の発展に貢献している 他	ご意見として承る。
37	熊倉小	Y	今回の説明会の開催の周知について疑問を持っていたので、区長に承諾を得て、回覧をして参加を募った。通学距離の設定された経過も考えると、統廃合ありきということが見える。発達段階を考慮したものでないのが残念である。小規模学校の課題について学術的なデータはないと思う。むしろ小規模で効果を上げているところも多い。未来の子供たちに投資をお願いしたい。教員配置について、難しいなら、財政的に厳しいかもしれないが市独自の方策を考えてほしい。	ご意見として承る。 我々としては、子供たちの教育環境のためにということを第一に考えている。そのためにはある程度の人数が必要との考えから案を提案させていただいた。
38	熊倉小	AB	28年前、マンモス校の渡小学校に子供を通学させていたが、熊倉小学校に転入してきて、地域と学校が密接に関わっている、教員と子供たち、保護者が近いなどで一人一人に行き届いた素晴らしい教育を受けた。地域の中心としての熊倉小学校をぜひ残してほしい。	ご意見として承る。
39	豊川小	AC	保護者説明会の参加状況 意見内容はどのようなものがあつたか。 反対意見はあつたか。	8月2日開催で10名の参加。 統合時のスクールバスについての質問。二小と慶徳小と豊川小の3校同時の方が良いという複数の意見。コロナ対応についてなど。 反対意見はなかつた。
40	豊川小	AD	子どもが減少してしまった原因分析を行ったのか。その対策は講じてきたのか。	市総合戦略による取り組みを実施してきており、今後も市全体で人口減少対策に取り組んで参りたい。

地域説明会概要

No.	小学校区	発言者	質問・意見	回答
41	豊川小	AE	<p>上三宮小学校は一番児童数が少ないのに小規模特認校として存続している。他の小学校は小規模特認校としてなぜ存続しないのか。</p> <p>小規模特認校としても、資料1（P6）教育上の課題に対応することができていない。小規模特認校とせずに統合の方向にすれば良かったのではないか。小規模特認校とする時に統合は全く考えていなかったということか。</p> <p>評価は何を評価するか。</p> <p>小規模特認校の説明がなかったので、他の地区で説明する際には、はじめから小規模特認校について説明した方がいいと思う。</p>	<p>上三宮小学校については、2年連続入学児童がいなかったため令和4年度から緊急的に導入した。小規模特認校として運営が始まったばかりであり、入学者が4名いることから一定期間運営していく必要があると考えている。今後、評価を踏まえ、存続について検討することとしている。</p> <p>当時、統廃合の案がしっかりしたものになっていなかった。このため、なんとか上三宮小学校を現状維持し、教育上の課題に対応する必要があった。今年度入学者があり、しばらくの間は小規模特認校を維持していかなければならない。</p> <p>子どもの数や子どもたちの学びの様子などを検証して、効果があれば継続させていきたい。</p> <p>ご意見として承る。</p>
42	豊川小	AF	<p>上三宮小学校の例は少人数であっても教育効果をあげられるという事例になるのではないか。</p> <p>どんなに小さな学校でも、お金がかかっても先生の数を減らさなければいいのではないか。</p> <p>法律が間違っているのではないか。どんな形でも補うことはできないのか。</p>	<p>上三宮小学校は小規模特認校により子どもの数も増やしたいと考えている。大きな目標のひとつでもある。</p> <p>できれば6学級までもっていきたい。子どもたちの数がある程度ないといろいろな考え方に触れる機会が少なくなる。上三宮小学校も小規模特認校制度を利用してもっと子どもを増やしたいと考えている。</p> <p>標準法により教員数が決められている。最終的には県が配置するので、県には強く要望している。</p> <p>教員不足の状況がある。また、財政的にも非常に大きな負担となるため不可能。ご意見として承る。</p>
43	豊川小	AC	<p>全国的にもそうなのか。小規模校における教員数の確保について今が踏ん張りどころなのではないか。</p>	<p>ご意見として承る。</p> <p>いろいろな場面で国に要望している。</p>

地域説明会概要

No.	小学校区	発言者	質問・意見	回答
44	豊川小	AG	<p>学校統合は過疎化に拍車をかける。喜多方市は踏ん張って欲しい。子どもを教育するなら喜多方でというような教育環境をつくって欲しい。</p> <p>遠い距離まで通学するのではなく、今の学校に通学しながらオンラインで切磋琢磨できるのではないか。</p>	<p>オンラインを活用しなければならないが、子どもたちにとって顔を突き合わせて、生の声で意見を交換するということが必要。</p>
45	豊川小	AC	<p>適正規模適正配置という言葉の根拠はなにか。</p> <p>適正規模の基準は文科省の基準をそのまま適用したのか。</p> <p>統合せずになるべく存続して欲しいと思う。少人数の方が手厚く子どもを育てられるといった考え方により進めて欲しいというのが地域の老人の願望です。</p>	<p>文部科学省の適正規模適正配置の手引きによる</p> <p>喜多方独自の基準である。</p> <p>ご意見として承る。</p>
46	豊川小	AH	<p>上三宮小学校の情報を他の市町村に向けて発信すべきではないか。検証してからでは遅いのではないか。</p> <p>私の卒業した学校（北塩原村）は統合されて無くなっている。統合には反対ではないが、学校が残ればいいとは思う。喜多方市の教育は、学問を重視するのか部活を重視するのか、特徴を出していくべきではないか。</p>	<p>広域的な募集については、いろいろな課題もあるので、検討していきたい。</p> <p>部活を理由に他の学校に行く事例もある。今年からは、地域部活動をモデル的に開始する。学問と部活については、両面を考えていく。</p>
47	豊川小	AD	<p>耐用年数超過の建物が多いことについてどのように対応していくのか。老朽化の問題があるから適正規模適正配置をやるのか。</p>	<p>子どもの教育環境を第一に考えているものである。</p>
48	豊川小	AC	<p>老朽化については、適正規模適正配置とは別に考える必要があるのではないか。</p>	<p>子どもの教育環境を第一に考えているものである。</p>

地域説明会概要

No.	小学校区	発言者	質問・意見	回答
49	慶徳小	AI	<p>上三宮小で導入した小規模特認校制度とは。他校へは導入できるか。</p> <p>(慶徳小の児童は) 御田植祭のほかにも生き物調査など地域に溶け込み活動している。統合になればなおざりになり、情操教育の面でマイナスが多い。地域から学校がなくなるのは大きな損失である。少なくとも豊岡地区ではそう考えると思う。</p> <p>令和4年度に複式学級が存在し、令和10年度にも複式学級が存在することの何が悪いのか。</p>	<p>令和2年、3年度と2年連続で入学者がゼロということから導入した。学区がなく市内のどこからでも通学できる制度である。市教委としては、上三宮小のみ導入の方針である。他校へ導入すれば少人数校から少人数校へ転校するなど、子どもの奪い合いになる。</p> <p>御田植祭は誇れる伝統行事であり、継続していくことが必要だろう。統合後も発展できるよう、また、活動も継続できるよう進めていく考え。</p> <p>不安は理解できるが、コミュニティ・スクールなどを活用しさらに活発な活動ができるようにしていく。</p>
50	慶徳小	AJ	<p>学校には御田植祭の篠笛の練習などの時間を確保し、また、祭りに参加してもらっている。児童が足りない場合は一中生に参加してもらっているが、御田植祭の具体的なところが分からない。</p>	<p>御田植祭は、地区の重要な伝統行事である。練習時間等の確保等については、学校の教育課程と関連するため、現段階で具体的に申し上げることはできない。</p>
51	慶徳小	AK	<p>統合をするのか、しないのか、はっきりしているのか。6、7割は反対であろう。もっと具体的な話をもってこないに進まないだろう。</p>	<p>教委としては統合案を示している。話し合いによりご理解をいただき、進めていく。</p>
52	慶徳小	AJ	<p>資料1の6ページ複式学級が増え、少人数集団になるのほど・・・という点について、抽象的で何が書いてあるのかわからない。切磋琢磨とは何年生を対象に考えているのか。説明会開催の周知について、市広報紙面の半分程度の使用であり分かりづらい。参加者が少ないのもそのためではないか。姿勢がおかしいのではないか。</p>	<p>(学習活動を)先生と児童生徒の1対1で行うことを目指してはいない。友達と共同し、自分たちの道を切り拓いていくような子どもの育成を目指している。これからの世の中を生きていくため、様々な友達と価値観を戦わせながら行っていくということ。複式の良さもある。慶徳小でもやっており、子どもたちも充実した学校生活を送っている。それだけではなく、子どもたち同士の学び合い、切磋琢磨することを重視していきたい。少人数だと図られにくくなる。そういった環境をさらに整えていきたいということである。</p>

地域説明会概要

No.	小学校区	発言者	質問・意見	回答
53	慶徳小	AI	少ない人数でも1人1人十分な環境のもと優秀な子どもが育つ。また、指導者（先生）が重要である。捉え方を論じた方がよいのではないか。	教員の多忙化と言われる中、先生方にはがんばっていただいている。複式学級は2学年一緒であることから通常学級の2倍の労力がかかり教員の指導力も問われる。慶徳小の先生も一生懸命にやっている。ただし、今後も続いていくことになれば教員数の問題が出てくる。学校の規模が大きくても小さくても授業以外で変わらない仕事があり、小規模の学校であれば2倍、3倍の校務分掌がかかり、負担が増す。学級数が少ないと教員の配置がされず、それが続くことは先生にとってつらいことである。3学級以下であれば、養護教諭、事務職員の配置がされない。現状なんとか配置してもらっているが、次年度以降の保障はない。養護教諭が配置されないということは、子どもの安全に大きく関わることである。 一定の子ども的人数の中で自分の意見を言い、また、聞くことがより良い教育環境であると考えている。
54	慶徳小	AJ	市は国の（財務の）考え方で進めているのではないか。	そのようなことはない。
55	慶徳小	AK	少人数教育について、モデル校として実施できないか。 少人数でも養護教諭を配置してもらうよう要望できないか。 施設の耐用年数を過ぎたらどのようにするということはあるのか。 一中の改修など、嘆願書を出せば改修してもらえるのか。慶徳小など例えば統合が決まった学校施設の改修について、外壁が崩れ落ちることがあっても統合するということで改修を行わないのか。	すぐにはできない。 要望し、進めている。 施設の耐用年数を過ぎてもメンテナンスをしながら使用は可能であり、必要な改修は状況に応じ対応していく。子どもたちの安全確保に必要な改修は行う。
56	慶徳小	AK	二小、慶徳小、豊川小を統合し新築する、児童クラブや通学手段はこのようにするなど、具体的な案で示して欲しい。	ご意見として承る。

地域説明会概要

No.	小学校区	発言者	質問・意見	回答
57	慶徳小	AI	<p>今後の予定は。</p> <p>説明会の参加者が少ないので、人を集める方法を検討してはどうか。</p>	<p>保護者説明会、地域説明会で出された意見等により検討を行い、適正規模適正配置審議会 で意見をいただく。さらに検討し、このような地域説明会を何度か行い意見をいただく予 定。また、保護者にはアンケートを行う予定。</p> <p>ご意見としていただく。</p>
58	慶徳小	AL	<p>慶徳町は行政区長が地域を取りまとめる形である。まず、行政区長会で説明し、区長が区 におろすような方法をとればよいのではないか。説明会のやり方は変えるべきである。</p>	<p>ご意見としていただく。</p>
59	慶徳小	AK	<p>今の段階は検討中で、（統合を）やるかやらないか分からないということによいか。</p> <p>保護者説明会の参加者数は。</p> <p>次回の説明会について、保護者と地域を別に行うのか。</p>	<p>案を示し意見を伺っている段階。</p> <p>7人</p> <p>検討する。</p>
60	熱塩小	AM	<p>熱塩小と加納小が一つに統合されるのは仕方がないが、現在の加納小学校に統合するとい うのは、校舎の耐用年数から見ても熱塩小に統合する方がよいのではないか。熱塩小を選 定しない理由は何か。</p>	<p>築年数は加納小学校が古いものであるが、校舎については、修復しながら十分な対応がで きると考えている。</p> <p>すぎっこ幼稚園が隣接していること等を踏まえて、加納小学校を一つの案として考えてい るのが現状である。</p>

地域説明会概要

No.	小学校区	発言者	質問・意見	回答
61	熱塩小	AN	<p>保護者等の意見があればお聞かせ願いたい。</p> <p>会北中学校の同窓会の役員をしている時に、保護者が統合することに同意しているのであれば、同窓会として意見することをやめた経緯があった。熱塩小と加納小の統合については仕方がないことと考えるが、遠距離通学に対するスクールバスの利用はどう考えているか。</p> <p>スクールバスを運行するのであれば、地域住民の利用ができるものとしてほしい。高齢化に伴う交通手段の確保にも利用できるような措置は考えているのか。</p> <p>小中一貫校を山都町で考えているようだが、熱塩加納でも小中一貫校を考えてほしい。熱塩加納は給食で全国に知られたところでもある。そこに移住する人を探すような工夫はないのか。</p>	<p>お盆前に保護者対象に説明会を実施している。統合要望についてはある程度ご理解いただいている。制服や統合の開始時期の質問、学区外通学を認めてほしいとのご意見をいただいた。加納小学校を新たな学校にすることについては大きな意見はなかった。松山小学校との統合についてもご意見をいただいた。</p> <p>距離・時間に応じた適切な通学方法を検討し、子ども達に負担にならないように検討していく。</p> <p>各地域の課題も踏まえて、子ども達の通学と地域の人々の利用という点で、どのような方策がとれるのか、現段階で明確に示すことはできないが、地域全体の課題として捉えて、各課とも相談しながら進めていきたい。</p> <p>熱塩加納の給食は、喜多方市の誇るべき給食の提供がなされているところである。今後、この地域の良さを発展的に広めていくことができるかについて考えていきながら、検討していきたい。</p>
62	熱塩小	AO	<p>学校が統合されることを聞いて子どもたちが不安を感じている。児童を対象とした説明会の実施予定はあるか。</p> <p>具体的に令和何年に統合を考えているのか。</p> <p>子ども達はいつ統合されるか不安を感じている。実際に関わる子ども達に説明をしてほしい。</p>	<p>現在のところ、保護者、地域住民の方を対象とした説明会を実施しているところで、子ども達対象の説明会は予定していない。今後の経過を踏まえて、学校を通して説明し、交流会等を通して不安の解消に努めていきたいと考えている。</p> <p>統合の時期については、話し合いをしながら進めていきたいと考えている。実際に統合することを決定しても、手続等を踏まえると決定後、2年ほどはかかると思う。</p> <p>経過について、校長会等を通じて説明していくことで、子ども達の不安解消に努めていきたい。</p>

地域説明会概要

No.	小学校区	発言者	質問・意見	回答
63	熱塩小	AM	<p>二中と会北中の統合については反対である。会北中は熱塩加納の中学校として残していただきたい。会北中の学校給食システムを十分に活用し、小中一貫校として存続させてほしい。会北中は、熱塩加納の中心に位置している。改修等の必要性はあるだろうが、通学等の距離的なことを考えてもよいのではないか。地域に学校がなくなることで、地域が廃れてしまう。小中一貫校として存続させることで、地域の人も納得するのではないか。学校給食においても全国表彰されている地域である。</p> <p>上三宮小学校はなぜ現状維持なのか、何らかの力が影響しているのではないかと思える。上三宮が例外に見えてしまう。上三宮ができるのであれば、熱塩加納も同じようにしてほしい。</p>	<p>ご意見として承る。</p>
64	加納小	AP	<p>「地域とともにある学校」という視点から考えると、中学校については地域との関りが薄くなるため、喜二中との統合ではなく、熱塩加納地区での小中一貫校の導入が良いと思う。その際のシュミュレーションを教えてほしい。</p>	<p>小中一貫校は中学校の学習内容の先取りや系統的な指導等、指導面での工夫がされる等の利点があるが、規模的には変わらない。ある程度の集団の人数があった方がよいと考え、喜二中との統合案を提案している。</p>

地域説明会概要

No.	小学校区	発言者	質問・意見	回答
65	加納小	AP	<p>統合した場合のコスト面についてはどう考えているか。</p> <p>複式学級での、加配教員等は配置できないか。</p> <p>現在、加納小では国語や理科で専科の指導を行っているが、適正規模適正配置の観点から、導入することはできないか。</p> <p>中学校の技能教科では講師が配置されていると思うが、それは人数に入っているのか。</p> <p>非常勤講師は、市で配置しているのか。</p>	<p>統合の具体的な案が決まっていないので、コストの詳細な試算はできていない。校舎等は長寿命化の検査をして、その結果により、改修を行っていく。長寿命化ができない場合は、一部新築の必要性も出てくる。</p> <p>学級数で教員の配置は決まっている。複式学級になった場合、教諭、養護教諭や学校事務職員等の配置もできなくなることも考えられる。県の方にはお願いはしているが、基本的には市の方で負担して配置せざるを得ないため難しい状況である。</p> <p>法的な決まりがあるので、加配は難しい。小学校の場合、複式学級になり状況によって、学校事務職員、養護教諭が配置されないこともある。中学校は3学級の場合6人で、複式学級だと4人の教員で全9教科を指導する必要が出てくる。自分の専門外の教科を指導することから、専門的な指導を受けることができない状況になる。加納小の専科による指導について、先進的な取組を行っているが、課題となるのは教員の数であり、それは増やすことはできない。</p> <p>会北中では、音楽と美術の非常勤講師が配置されているが、県に無理にお願いしていて、いつ配置されなくなるか分からない。厳しい状況である。</p> <p>県の方にはお願いしての配置である。</p>
66	加納小	AQ	<p>喜二中と会北中では、文化、コミュニティが全く異なり、コミュニティが変わってしまうのではないか。</p> <p>学校給食についても独得な取組をしており、小中一貫教育学校も選択肢の一つである。ぜひとも地区に中学校を残してほしい。</p>	<p>地域コミュニティへの配慮ということで、授業で郷土学習、地域行事への参加、地域部活動等を取り入れること等によって、地域へのつながりが保てるようになっていきたい。小中一貫校の導入については御意見として承る。</p>
67	加納小	AR	<p>「地域とともにある学校」「地域コミュニティ」を重視する上からも（地域に指導をお願いすることも含め）小中一貫校としての部活動の在り方についても検討してほしい。教員の負担軽減につながるのではないか。</p>	<p>ご意見として承る。</p>

地域説明会概要

No.	小学校区	発言者	質問・意見	回答
68	加納小	AS	<p>計画を何年で実施するのか。概ね10年後までに完成するということか。</p> <p>熱塩小と加納小の校舎は耐用年数が超過しており、仮に統合した場合には、会北中の校舎を使用してもよいのではないか。</p> <p>加納小の校舎を使用するのであれば、子供たちが安全に生活できるようにしてほしい。</p> <p>対等な立場での統合というのであれば、生徒たちが不安にならないような受け入れ態勢をお願いしたい。</p>	<p>令和5年度からの10年間の計画である。実際は一斉に行うことは難しいので、皆さんの話し合いをしながら優先順位をつけてできるだけ早め実施していく予定である。いつまですべて完成するということは言うことはできない。地区によっては、早めに統合してほしいという意見もありできるだけ早急に対応していきたい。児童減はこれからも続いていくと考えられるので、統合後の再統合についても検討することも出てくる可能性がある。</p> <p>今の意見について保護者からも同じ意見が出されているが、小学校と中学校の校舎建築の差（階段の高さ、プールの深さ、体育館等）を考慮し、駐車場等の広さ、こども園との距離等を考慮し、加納小という考え方を示している。統合の方向性が決まれば、長寿命化等の検査を通して、具体的に校舎活用の方策を考えていきたい。</p> <p>校舎については十分配慮していきたい。</p> <p>生徒が不安にならないように統合前の交流活動等を十分行い、スムーズに統合後の中学校生活に入れるようにしていきたい。</p>
69	加納小	AT	<p>統合後の休日の部活動の通学の方法についてはどうなるのか。</p> <p>統合についての保護者の声分からないが、どのようなものであったか。</p>	<p>スクールバス等の活用について検討をしてきたい。</p> <p>統合を進めてほしいという割合が比較的多かったと捉えている。</p>
70	加納小	AR	<p>生徒のアンケートも取った方がよいのではないか。子どもの立場からの考えもあってもよいのではないかと感じた。</p>	<p>過去に実施したことがあるが、子どもには客観的な部分での判断が難しいので、大人の方で統廃合については考えていきたい。</p>
71	加納小	AQ	<p>保護者の考え方と我々の考え方とでは少し差があるように感じる。その辺も十分配慮していきたい。</p> <p>生徒への教師の接し方についても配慮していただきたい。（統合の計画もあるので）</p>	<p>ご意見として承る。</p>

地域説明会概要

No.	小学校区	発言者	質問・意見	回答
72	加納小	AT	統合後の学校給食はどのように対応していくのか。 現在の熱塩加納の共同調理場を使用して小学校に給食を提供していくのか。	学校給食については、熱塩小学校、加納小学校の保護者から継続してほしいとの要望がある。今の方式について熱塩小、加納小の統合後もできるだけ継続していきたい。中学校については、食数の部分等を考慮し、現在のままでは継続できない部分も出てくる。今後検討が必要だと考える。 どこの施設を使うかは現在決まっていない。統合が決まった段階で、今後検討していく。
73	堂島小	AU	施策目標「2豊かな心の育成」や「5学びを支える環境の整備」ができるのか。それには公民館の役割が重要なのではないかと。 地区運動会や同窓会を見直す必要があるのではないかと。 統合に向けての青写真はあるのか。 説明会は今後もあるのか。	道徳教育や小学校農業教育等で2は育成できるように対応していく。また、5については安全教育やコミュニティスクールの整備が重要である。公民館の活動が継続していくように取り組んでいく。 地域の活動が継続していくため、話し合っていて決めていきたい。 青写真は話し合っていて決めていきたい。 今後も行います。
74	堂島小	AV	児童クラブはどうなるか。統合すると利用者が増え、低学年が優先で、高学年は帰すことになっても難しい。会津若松市だと18時以降も延長できるのだがどうなるだろうか。	今後、内容等を含めて検討していく。
75	堂島小	AW	公民館や同窓会などコミュニティスクールの先駆けである。思いの強い地区なので、慎重に進めて欲しい。 今の塩川小学校では体育館や校庭が狭い。新しい学校を作らないと統合は難しい。 塩川小学校を3つの学校に分けても良いのではないかと。	ご意見として承る。
76	堂島小	AU	企業を呼ぶことはできないのか。若者が残らない。行政も努力して欲しい。	担当部署にご意見として伝えます。

地域説明会概要

No.	小学校区	発言者	質問・意見	回答
77	堂島小	AW	統合前に子育て世代を呼ぶ努力をして欲しい。 中学校は大人数でも良いが、小学校は歩いて通う距離が良い。	ご意見として承る。
78	堂島小	AX	堂島小学校をなくしたくない。	ご意見として承る。
79	塩川小	AY	地域説明会等を行う場合には広報の仕方を工夫してほしい。 案については反対である。自分は、分校出身で、複式学級が悪いとは思わない。どこに生まれても、どこに住んでいても良質な教育を提供するのが教育の機会均等である。小さいうちからの切磋琢磨が、それ程必要なのか。市町村合併前は、いろいろな場面で教師は努力してきた。 現在、児童生徒が少なくなっているのは、合併後の施策の失敗である。再度、町づくりについて検討を進めて行ってほしい。子供たちを応援する教育委員会であってほしい。	広報について、工夫していきたい。 複式学級のメリットはある。いろいろな地区でそのような意見はあった。他方、切磋琢磨すること、様々な人や意見に触れること、お互いが協力し 取り組む機会を増やしていくことも大切であり、子供の可能性ということを考え、案を作成した。 合併後のまちづくりについては、人口減少等について、第2期総合戦略で取り組んでいるところだが、庁内の会議等で話をしていきたい。
80	塩川小	AZ	周知の仕方が丁寧でない。案を回覧してもらえば、参加者も増えたと思う。 堂島小学校出身だが、地域に学校がなくなったら、子供の声が聞こえなくなり、寂しい。地域のまとまりもなくなるし、若い人は、学校がない地域には住まなくなる。地域がさびれてしてしまう。 保護者の会議ではどのような意見が出たのか。	広報については、今後工夫していきたい。 ご意見として承る。 塩川小学校区では、「子供が少ないので、統合はやむを得ない」「新しい校舎を建ててほしい。新しい環境で学習させたい」「塩川小は手狭なので、校舎を改善してほしい」等々の意見があった。 堂島小学校区では、「残してほしい」「早くやってほしい」との意見があった。 姥堂小学校、駒形小学校区では、「4校統合は規模が大きすぎる」「段階的統合でなく、一回での統合が望ましい」等々の意見があった。

地域説明会概要

No.	小学校区	発言者	質問・意見	回答
81	塩川小	BA	<p>塩川小学校の児童の様子を見ているが、（放課後）旧保育所の狭いところに押し込められている状態である。これ以上の人数が集まるのは、コロナ禍の現状ではどうかと思う。</p> <p>また、何かあった際、送迎が必要な場合は、すぐに対応できない。学校は子供が歩いていける距離がよいと思う。今まで見守り隊等を含め、地域全体で子供たちを育ててきた。そのような関りもなくなってしまし、地域と学校のつながりがなくなってしまう。学校は地域とつながってのものである。案には反対である。</p> <p>小規模化の課題が出されているが、現在、オンラインなどで様々な学校の人と関わる事が可能になった。それらを活用すれば大人数で集まることもいらなくなると思う。そのことも含め、今後の見通しをもって取り組んでほしい。</p>	ご意見として承る。
82	塩川小	BB	場所も決めていかないと、適正規模適正配置の話が進んでいかないのではないか。	まずは統合についての基本的な考え方、案を示し、方向性を決定してから具体的な部分について考えていく予定である。
83	塩川小	BC	財政面についてはどのようにしているのか。統合した場合にはいくらかかるのか、統合しない場合はどうか等について具体的な数字を示してほしい。将来、市が破綻してしまっても困ると思う。	まずは、統合についての方向性を決めて、具体的な財政面について、統合した場合としない場合についてシミュレーションしていきたい。
84	塩川小	BD	北海道でインターネットを使った学習をして効果を上げているという報道があった。そのようなシステムを使って、統合しなくても交流していくことができるという。現状に合った教育を考えていくことを考えていってほしい。	ご意見として承る。
85	塩川小	BE	会津坂下町は平成26年度に小学校6校を2校に、中学校2校を1校に統合した。喜多方市の場合は、児童生徒数の減少を考えると、統廃合の話を進めるのが遅かったと考えている。他市町村の例も参考に進めてほしい。	会津坂下町、西会津町が統廃合しているということは承知している。他の例も参考にしていきたい。

地域説明会概要

No.	小学校区	発言者	質問・意見	回答
86	姥堂小	BF	<p>今回の説明会の周知はどのようにしたのか。</p> <p>保護者の負担が多くなってしまふ。また、学校がなくなったり校歌が新しくなったりするのは寂しい。今のままで良いのではないか。</p> <p>登校時のあいさつが良い。スクールバスではなく歩いて登校できると良い。</p> <p>養護教諭等がなぜいなくなるのか。</p>	<p>保護者と地域の説明会を分けた。保護者は学校からお知らせした。地区はHPや広報でお知らせした。</p> <p>大人数の集団の中で学ぶ機会を重視したい。学級が少ないと養護教諭や学校事務が配置できない。教員数が減ると1人の負担が多くなってしまふ。</p> <p>地域との繋がりを切らないように工夫していきたい。</p> <p>配置は県が決めている。1校で3クラスないと配置が難しい。</p>
87	姥堂小	BG	<p>職員室の電気がいつまでもついている。現状を把握して欲しい。</p>	<p>仕事の量は学校規模にかかわらず同じ量である。小規模だと教員数がないため仕事量が増える。</p>
88	駒形小	BH	<p>本日の参加者が5名を多いと捉えるのか、少ないと捉えるのか分析しておく必要がある。説明会について地区内回覧等で周知が必要かと思う。丁寧な説明を継続してほしい。</p> <p>小規模のメリットや統合するデメリットについても記載があるとよいのではないか。基本的な考え方については、令和元年に定められたことではあるが、喜多方市としての基本的な考え方というよりも国の基準と捉えられる。喜多方市としての基準を明確にして記載してもらえるとよいのではないか。統合という前にデメリットを克服するために、教員の配置を考える等、できることはないか。</p> <p>コミュニティスクールの委員となったばかりで、すぐに統合という話が出てきている。地域との連携を考える上でモチベーションが下がってしまう。</p>	<p>1回の説明で決定するものではない。計画について十分な周知ができていなかったことについて今後考えていきたい。保護者等の説明を行い、今回、区長等にお知らせしている。周知の方法については今後も検討していきたい。</p> <p>児童生徒数、学級数の基準について、複式学級とならないということからの数字であり、教員の数を確保しなければ十分な教育活動を展開することが心配される。養護教諭の配置にもかかわるため、地域と相談しながら進めたいと考えている。</p> <p>コミュニティスクールの在り方について、統合後も新しい仕組みづくりを考えながら進めていきたいので、御協力をお願いしたい。</p>

地域説明会概要

No.	小学校区	発言者	質問・意見	回答
89	駒形小	BI	<p>主人が農業支援員として学校に関わっている。コミュニティと学校が連携を強化し、地域とともにある学校づくりを進めるためには、駒形地区に子どもがいなければならない。地域が学校があり子どもたちがいることが大切であることから、塩川に集めなくてもよいのではないか。大勢いる所に集めるのではなく、塩川小を3地区に分散させることはできないものか。</p> <p>保護者の方への統合に向けての最初の説明はいつ始まったのか。 最初の説明から時間が経っており、このように計画が進んでいることを初めて知った。</p> <p>上三宮の特例校の話を中心に聞いていたが、駒形にも人が集まるような仕組み作りができないものか。 上三宮の学区の範囲はどこか。 塩川地区で考えることができないか。</p> <p>駒形地区の保護者説明会での意見はどんなものがあったか。 そのことについて、市として検討してはいるのか。</p> <p>保護者からすると、通学距離、大人数になることに不安を持っている方もいるのではないか。少人数のよさを大切にして地域から学校をなくしてほしくない。</p>	<p>塩川小学校を分散させることは想定してこなかった。</p> <p>最初に説明したのは平成29年であった。</p> <p>小規模特認校は、特例であり、市内各所に作ることは人の取り合いとなる可能性もあるため、上三宮以外では考えていない。 学区は喜多方市全域 現段階で複数の特認校を作ることは想定していない。</p> <p>4校の統合は規模が大きいのではないか。2校程度が適切ではないか。 塩川小学校以外で3校の統合ではどうか。一度に統合することで子ども達に不安が生じるのではないか。教員配置が可能であれば、統合しなくてもよいのではないかという意見がだされた。現在、意見をいただいたことをもとに、今後検討していくことであり、現段階ではご意見をいただいているところである。</p> <p>ご意見として承る。</p>
90	駒形小	BH	<p>塩川に児童生徒数が集中しないような学区の見直しは検討していないか。学区を見直すことで分散させることもできる。検討課題としてもよいのではないか。</p>	<p>学区の編成について、ご意見としていただく。</p>

地域説明会概要

No.	小学校区	発言者	質問・意見	回答
91	駒形小	BI	<p>統合した場合の、放課後の児童館の利用についてはどうなるか。塩川町の児童館の人数が多くて大変であることを聞いている。児童館だけ、地区に戻るのもどうかと思う。児童館についても考えてほしい。</p> <p>姥堂、堂島、駒形を統合するのではなく、生かす方法も考えてほしい。地域に小学校を残すという意見は今まで検討しなかったのか。</p> <p>保護者の意見を聞くと統合という方向で考えなくてはいけないと思うが、その中でも一番に子どもたちのことを考えてほしい。</p>	<p>こども課と連携しながら進めていく。</p> <p>適正規模適正配置の審議会等を開催して、現在に至っている。様々な代表の方より意見もいただきながら検討してきた上での、説明会としている。</p>
92	駒形小	BH	<p>保護者の方は統合して大人数の中で学ばせたいという考えが多いのか。</p>	<p>数的なものを把握はしていないが、傾向としては大人数の中で学ばせたいという考えも地域差はあるが出ている。</p>
93	駒形小	BI	<p>他地区の説明会は終わっているのか。どんな意見が出ているか。</p>	<p>堂島、姥堂を終え、本日駒形地区で行い、明日は塩川で予定している。統合に対して賛成・反対の両方の意見が出されている。</p>
94	駒形小	BH	<p>地域振興という視点からも議論していただければありがたい。</p>	<p>説明会はこれで終わりということではなく、意見を受けて審議会で検討していく。子どもたち、地域にとってどういう形が最善なのか考えていきたい。</p>
95	駒形小	BI	<p>小中一貫の予定はあるのか。</p> <p>地域に学校を残していただくことが願いである。塩川小学校みんなが集まるのは難しいのではないか。</p>	<p>現在、山都・高郷地区で検討している。塩川地区でもご意見があれば伺いたい。全く違う場所に小中一貫教育学校をつくるということではなく、既存の学校を一貫校とするかどうかということでお考えいただきたい。他地区の説明会で意見をいただいていることでもある。</p>
96	駒形小	BJ	<p>計画の期間が10年という説明であったが、ある程度の目安はあるのか。</p>	<p>説明会を重ねて、検討していくので、いつということは未定である。</p>

地域説明会概要

No.	小学校区	発言者	質問・意見	回答
97	山都小	BK	<p>このような案を示す場合、統合ありきで進めるのが通例。議会で承認をもらいトップダウンで進めるというようなことも聞く。耶麻農業高校の場合、統合ありきではじまったが、この計画案も統合ありきなのか。</p> <p>地域に学校がなくなると過疎が進む。なんとか地域経済を維持している状況である。中学校は仕方がないと思うが、小学校をなくすことは止めて欲しい。人口も合併して減っている状況なので考えて欲しい。</p> <p>なぜ、少人数が悪いのか。競い合うことも必要だが、対面での教育があっても良いのではないか。少人数でもしっかりした教育をして欲しい。</p>	<p>耶麻農業高校のように統合を進めるということではなく、この計画は、いただいた意見を持ち帰り検討し、また、再度ご説明するという進め方である。</p> <p>学校がなくなれば過疎化が進むという話は他からも聞いている。適正規模適正配置の基準にあてはめると喜多方地区まで行かなければならないが、地域に配慮し一貫校としているもの。基準を画一的にあてはめてしまっている訳ではない。児童・生徒がかなり減少していく。高郷小は複式学級が発生し、そのうち中学校でも発生する。山都も人数が減っていく。</p> <p>対話的で深い学び、グループ学習が重要視されるようになってきていることから、そういう環境を作ってあげなければならないという考え。</p> <p>40人学級が35人学級になり、さらに少ない人数を要望している状況。少人数というより複式が課題であると捉えている。1人の先生が2学年をみることは負担が大きい。</p>
98	山都小	BL	<p>反対を表明する。過去に山都で統合があった。一ノ木には若者が住んでいない。統合すれば若者が住めなくなる。地域の文化と学校が断ち切れ、学校への関心が薄れる。また、地域が荒廃する。小中一貫校の提案だがどちらかの町からは学校がなくなるし、荒廃するので反対である。</p> <p>資料1の6ページで少子化の課題としているが、利点もあるだろう。山都の子どもたちも良い結果が出ている。少人数クラスの問題点はどのようなことがあるのか。</p>	<p>少人数のメリットとして、一人一人に目が行き届きやすい、学年間交流ができるということが挙げられる。デメリットとして、実験や観察など長時間の直接指導に制約が生じる。また、兄弟姉妹が一緒のクラスになることもある。また、教員の力量が必要となる。複式、少人数、大人数、メリット・デメリットはどのような時もある。複式や少人数を悪いと言ってはいない。これからの子どもたちに求められるのは、胸をはって自分で生計を立て、新たな価値や職業を作り出すようなこと。また、多くの友達の前で発表したりする力を今から培っていくことが大事である。地域の衰退はあると思うが、今いる子どもたちの将来を考え、教育のメリットが発揮されることが大事である。</p>

地域説明会概要

No.	小学校区	発言者	質問・意見	回答
99	山都小	BM	<p>地域の人と保護者の意識のズレはあるだろう。多くの人数で切磋琢磨というのはわかる。少人数教育では活躍できないとか、優秀になれないということはないのではないか。小学校で複式だから劣るということはない。かつての山都は学校がたくさんあり、複式もあった。複式をなくしたいという観点で説明しているが、今は全国各地との学習が可能である。複式をなくすための統廃合は止めた方がよい。</p> <p>ここからいったん出れば8、9割の人は戻ってこない。だから人口が減少する。郷土愛、地元に残る教育をやることを考えて欲しい。</p> <p>山都は生き残ることが可能だが、高郷は今も子どもが少なく、拍車がかかる。子どもの声が聞こえないということがマイナス要素となる。自分の生まれた地域の山や川を大事にするような教育をして欲しい。</p> <p>令和42年の人口推計が出ているが、本市の推計をみるとある時点から出生数が同じとなっているが、そもそも出産する人の数がない。現実的に将来をみて欲しい。また、地域の小さな部分をみて欲しい。</p>	<p>小さなうちからより多くの人と関われるようにしたいという考え。</p> <p>ICTでの授業を常にやることは難しい。学習環境を整えるため、一定の人数を確保したいということである。</p> <p>郷土に愛着が持てるような教育は、今後を取り組んでいく。</p>
100	山都小	BN	<p>資料1の7ページについて</p> <p>以前の説明会で、支援学校に通っている子どもはどのようになるのか質問したが、当然その子どもたちにも配慮するとのことだった。</p> <p>現在、会津若松の支援学校に通っている子どもも喜多方の学校に通うことはできないのか。一緒に学んでいくことが大事だと思っている。</p> <p>適正という計画の名称に違和感がある。人口減は方針を作る段階から見込まれていた。この間、どのような努力をしてきたのか。喜多方と塩川には子育て住宅を建設し、熱塩、山都、高郷は空き家を活用するとのことだが、仕事、移住などすべての関係課に関わることが、この計画の時点で重要である。</p>	<p>特別支援について、適正就学と言い、どういう教育を受けるのが良いか専門の先生の意見を聞いて決める。支援学校と支援学級では能力、身体に差がある。支援学校に通学するには理由があり、それで通っている。支援学校、支援学級では教育課程が違う。支援学校と市内の学校は交流という形になる。支援学級には条件があり、例えば6年生に特別支援の子どもがいて、1年生から5年生にはいない場合、6年生が卒業とともに廃級となる。次年度1年生に特別支援の子どもが入ってきた場合、新設となるが、4人以上でなければできない。規模が小さければ作れない可能性もあり、適切な学習を行える環境にないということになる。インクルーシブ教育、人が育つ上で大事なことであり、一緒に学習できるように努力する必要がある。</p>
101	山都小	BK	<p>なぜ、特別支援は4人なのか。たとえ1人でも、やらなければならないのではないのか。</p>	<p>学区や学校などにもあるような設置の基準である。基準を下げるよう要望しており、今後も要望していく。</p>

地域説明会概要

No.	小学校区	発言者	質問・意見	回答
102	山都小	BK	<p>上三宮小の小規模特認校とはどのようなことか。全ての学校を小規模特認校にできないか。</p> <p>上三宮小PTAや他の事情により残ったと聞く。制度を見直し、（小規模校）残してもらえるようにしてほしい。</p>	<p>学区がなく、市内全域から通学可能となっている。2年間入学者がなく1年生と4年生の飛び複式の懸念があったことから緊急的に人数を確保するため導入したもの。この計画案ができる前に人数が減ったことから緊急的に導入したもの。他の小規模校に適用すれば小規模校から小規模校への異動で児童の取り合いになる。上三宮小にのみ適用したものである。</p> <p>ご意見としていただく。</p>
103	山都小	BM	<p>山都高郷を小中一貫校という案。具体的に進めていく中で、山都と高郷一緒での説明会をやって欲しい。どのような思いをしているのか、同じ場で議論する必要がある。</p>	<p>ご意見としていただく。</p>
104	高郷小	BO	<p>高郷から山都への統合ではなく、新しい学校を作るという認識でよいか。</p> <p>スクールバスへの乗車時間で高郷から山都へ行く場合、1時間を超えないように配慮してほしい。</p> <p>子どもが増える前提はないのか。山村部が優遇されるような、また、山村部へ人を呼び込むような施策はないのか。</p> <p>建物が法的に超過しているとのことだが、見解は如何か。</p>	<p>新たな学校をつくるということは、例えば学校の名称を新しくするということである。建物を新しくするかは未定だが、既存の校舎を使用したい。</p> <p>スクールバスの運行は柔軟に対応する。コースの組み方を工夫するなど、時間がかからないようにする。</p> <p>少子化対策は日本全体でも、また、本市でも取り組んでいる。雇用、子育てなど人口増に取り組んでいる。移住者がいればよいのだが、この計画は人口増加の期待をもって作ることはできず、児童生徒数の減少に対する危機感で作っている計画である。</p> <p>あくまで法定耐用年数として超過しているということである。建物の使用は4つの方法があり、小学校2、中学校2でどこを使うか決めていないので、意見をいただきたい。小中一貫という案で、小中隣接を考えている。1校に統合の場合、今後ハード整備が必要になる。</p>

地域説明会概要

No.	小学校区	発言者	質問・意見	回答
105	高郷小	BP	<p>そこに子どもがいる限り1人でも学校があるべきで、学校が近くにないと意味がない。人がいなくなってしまう。(天栄：湯本中の例) 統合の努力は認める。だが、そのエネルギーを学校維持の努力に振り向けられなかったのか。複式が劣るといって、良い教育ができていない。劣る根拠がない。高郷、山都でよい教育ができる。校舎の改築は努力して欲しい。</p> <p>文科省も部活を学校から切り離そうとしている。早いうちに社会体育に移行して学校の枠を取り外してほしい。そのためにバスを動かす、講師を見つける等の対策は可能である。</p> <p>複式学級の教員配置については、複式補正がある。市で予算をつければ教員を配置できる。コミュニケーション力や人間関係は1人でもやり方次第である。今はリモートで全世界、ICTでつながることができる。今のことが実証されているのか。小規模校、大規模校での実証結果はあるのか。</p> <p>地域に学校がなくなったらどうなるのか、責任を持てるのか。一層荒廃するのではないのか。地域に任せた方がよい教育ができるのではないのか。学校は地域の防災拠点、プールは断水の際に使用、避難所にもなる。広い地域から学校はなくなったらどうなるのか。</p> <p>どの場所にどんな学校を作ったらどのような教育をするのか示すべきである。具体性のないプランで我々は承認できないと思う。</p>	<p>学力だけではなく、対話的は学び、様々な児童、生徒と意見を交わしながら課題解決をすることが必要ではないか。知識の詰め込みではなく子ども同士意見を交わしあう場が必要。複式が悪いとは言っておらず、少人数よりも一定数子どもがいたほうが良いというのが我々の考えである。市内に複式は7校あるが否定するものではなく、先生方の努力、保護者の協力をいただいている。より望ましい環境という提案である。子どもの教育環境と照らし重要だろうということ。山都・高郷で学校が1つとなるということなので「魅力ある」ということで小中一貫を提案している。</p> <p>部活動については地域部活動のモデルケースとして地域に移行できるか取組を今年度からはじめるところである。</p> <p>複式について科学的な証明はないと思う。学力への反映はわからない。</p> <p>学校の統合により、子ども1人がどのくらいの人数に関わることができるか、かかわりを持つ人数、お互いの交流が増えるであろうということは確実に言えることである。複式学級については、文科省の手引きにも「教育上の課題が極めて大きい」とされている。</p> <p>防災の拠点は必要と考える。学校を使うかは検討となる。</p> <p>4校のうち1校を活用、新築、空き施設の活用の3つのパターンがある。場所などについて今回意見をいただきたい。</p>
106	高郷小	BQ	<p>計画には良いことばかり書いてある。統廃合のデメリットはないのか。地域が広がると自然災害による交通の遮断、孤立した場合はどうするのかなどの課題が出てくる。このようなことから、説明会は教育委員会だけではなく、市当局も出席するべきである。原子力発電所の事故など、自然災害に絶対はないということを頭においてやって欲しい。</p>	<p>統合案のデメリットとしては、学校までの距離が遠くなる子どもが出てくる可能性があるが、スクールバスの運行を工夫し負担を軽減するよう配慮する。</p> <p>また、統廃合により学校がなくなる可能性が出てくるが、地域の人と触れ合える活動は残しながら対応する。市当局の対応ということについて、市で合意形成をした上で今回の案を説明している。防災の点についてもしっかりとやっていく。</p>

地域説明会概要

No.	小学校区	発言者	質問・意見	回答
107	高郷小	BR	<p>高郷地区については、現状維持がよい。子どもたちにとって望ましい教育環境を弾力的に考えた方がよい。統廃合は合併前の区域でやって欲しい。5つの地域を大事にすると市の魅力アップにつながる。</p> <p>自分の住んでいる地域で子どもを育てたい。高郷はかつて3つあった学校を1つに統合したが、広い地域は大変である。義務教育の間は、自分の地域で学ぶことが大切である。郷土愛、地域学校協働活動をしていると思うが、地域と学校が相互に関わりあう高郷全体で子どもを育てることが大事である。より良い教育環境の議論を進めて欲しい。</p>	ご意見として伺う。
108	高郷小	BS	<p>現状維持がよい。子どもがいる限り近くで学ぶことが大事である。小中一貫が示されているがデメリットとして、建設費などかなりの予算を使うと思うがそこも数字として出して提案するべきである。</p> <p>スクールバスを出したとしても狭い道もあり時間的に大丈夫なのか、冬場は1時間ではかなり難しい。子どもの負担となる。状況をみて考えているのか疑問である。</p> <p>統合するのであれば、校舎が新しい高郷に移すべきである。保護者が統合と言うまで、令和10年度になるまで、子どもがゼロになるまではこのままでよいと思う。でないと老人はがっかりする。</p>	通学については住んでいる状況などからスクールバスの運行を工夫しながら行う。建物など具体的なことは、今後検討する。
109	高郷小	BT	<p>資料2の21ページのようなになれば本当に広い範囲になる。高郷から学校がなくなる懸念があり運動会、交通安全パレードなど影響があり、地域の活力低下が懸念されるがどのように考えているか。</p> <p>学校がなくなれば親もいなくなる懸念がある。また、通学の負担も増える。</p> <p>通学時間が40分から60分に変更となった理由は何か。</p> <p>現状維持で願います</p>	<p>小学校の運動会はなくなるが町民運動会は継続できると思う。子どもがいる状態が大事である。小規模校に通わせたくないという考え方もあり、地域から転出してしまうことも考えられる。子どもが地域に残っていれば地域の行事への参加、活動は維持できる。</p> <p>通学はできるだけ負担にならないように工夫する。山都は縦に長く、高郷は幅があるなどの状況であり、スクールバスの対応など負担にならないよう対応する。</p> <p>議論の過程で40分ということがあった。60分というのは文科省の手引きを参考としている。地域の実情に応じ画一的ではなく柔軟にやっていく。</p>

地域説明会概要

No.	小学校区	発言者	質問・意見	回答
110	高郷小	BS	<p>子どもを増やす努力について、思い切っていない。少なくとも減らさない。</p> <p>上三宮方式を高郷にあてはめればよい。教育の内容を整えればよいのではないかと考えて欲しい。</p>	<p>人口を増やす対策は全庁的に取り組んでいる。もっと大胆にやるべきとのご意見は持ち帰り伝える。</p> <p>上三宮については適正規模の議論が具体化しなかった際に1・4年生のとび複式の発生などの状況により緊急的に導入したものである。他の小学校に導入すれば子どもの取り合いになる懸念があるので、上三宮に限定している。</p>
111	高郷小	BU	<p>人口を増やす対策を行っていることは理解した。企業の誘致も含めて考えて欲しい。市当局にも来てもらおうとよかった。</p> <p>小学校は残して欲しい。でない子どもが戻ってこないし、産み育てる環境がなくなる。最後の1人になるまで学校を残して欲しい。人を増やす努力を大きな視点で考えて欲しい。国の政策で子ども家庭庁ができたりする。高郷は後回しにされていることを感じる。館岩の山村留学の計画を報道で知ったが、本市では計画はないのか。</p>	<p>人口を増やす対策は全庁的に取り組んでいる。</p> <p>現段階で話になっていない。</p>
112	高郷小	BP	<p>出された意見はどれだけ生かされるのか。</p> <p>保護者説明会の参加人数や意見はホームページで公表しているのか。速やかに行うべきだが如何か。説明会全体の公表はいつか。</p>	<p>出された意見は持ち帰り検討する、どの程度反映するかということとは言及できないが、全て検討はする。</p> <p>高郷地区の状況について、7月26日に開催し、18人の参加であった。主な意見としては、「小中一貫校とはどのような学校であるか」「統合の時期について」「小中一貫校になっても学鳳やザベリオに進学できるか」「部活動を考えれば中学校の統合はやむを得ない」「小学校がなくなるのは寂しくなる」「他地区との統合は抵抗がある」「山都、高郷の統合だけではなく、喜多方地区との統合も必要になるのではないか」</p> <p>全体は、取りまとめた後に公表していきたい。</p>
113	高郷小	BR	<p>上三宮が小規模特認校というのは不平等感がある。5地区での学校は維持し、より良い教育環境を整えて欲しい。</p>	<p>ご意見として伺う。</p>
114	高郷小	BV	<p>説明会に教育委員会しかきていないが、市長、副市長、議長も出席すべき。</p> <p>市町村合併時に対等とは言いながら吸収合併の形である。村のままの方がよかった。行事も喜多方中心であり、合併の時もそのようにならないようにと検討すると言っていたが、検討していないし、検討結果の報告もなく、決まりましたとのことである。このようなことは止めて欲しい。</p>	<p>市内17か所において、このような機会を設けている。意見は持ち帰り検討し、またこのような機会を設け検討した結果をお伝える。</p>